

# 保護者の評価、自己評価結果等の公表

公表：令和5年2月28日

事業所名 金沢市障害児通園施設ひまわり教室

## 1. 児童発達支援（I部）2022年度分

### (1) 「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果」

保護者等数（児童数）14人 回収数14人 割合100%

<回答の分析結果は表1の通り>

・14名から回答をもらう。質問は5つの領域に分かれていて、全部で23個の問い。

表1 「保護者等からの児童発達支援事業所評価の回答の集計結果」 ( )内はパーセント

|                | はい        | どちらともいえない | いいえ    | わからない   | 無回答    | 合計       |
|----------------|-----------|-----------|--------|---------|--------|----------|
| 環境、体制整備 (①～④)  | 55(98.2)  | 0(0.0)    | 0(0.0) | 1(1.8)  | 0(0.0) | 56(100)  |
| 適切な支援の提供 (⑤～⑨) | 59(84.3)  | 3(4.3)    | 0(0.0) | 5(7.1)  | 3(4.3) | 70(100)  |
| 保護者への説明等 (⑩～⑱) | 134(95.7) | 0(0.0)    | 2(1.4) | 3(2.1)  | 1(0.8) | 140(100) |
| 非常時等の対応 (⑳～㉑)  | 25(89.3)  | 0(0.0)    | 0(0.0) | 3(10.7) | 0(0.0) | 28(100)  |
| 満足度 (㉒～㉓)      | 26(93.0)  | 1(3.5)    | 0(0.0) | 1(3.5)  | 0(0.0) | 28(100)  |
| 合計             | 299(92.8) | 4(1.3)    | 2(0.6) | 13(4.0) | 4(1.3) | 322(100) |

以下は、各問いに対する保護者のみなさんの意見です。

#### 環境・体制整備

|  |
|--|
| <p>① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか<br/> <b>はい14 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0</b><br/> <b>意見</b> ・「十分な広さがあると思う。1つ1つの部屋のスペースがゆったりしており活動しやすそう」「楽しく動き回っている」「ホールは広くて、子どもが走り回っている」「子ども達がいるんな活動を楽しめる広さだと思う」</p>   |
| <p>② 職員の配置数や専門性は適切であるか<br/> <b>はい13 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%)</b><br/> <b>意見</b> ・「手厚く細やかに発育を見ていただいています」「介助が必要な子どもには食事を手伝ったり、抱っこしたりできていて丁度いい」「十分な人数だと思う。持病のある子がほとんどなので、看護師が居たほうがもしもの時の対応（救急要請など）心マ（心臓マッサージ）など対応しやすいと思う」「いつも手厚くみてもらい探検好きな息子にもいつも付き合ってもらっています」</p> |
| <p>③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか<br/> <b>はい14 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0</b><br/> <b>意見</b> ・「1人1人のロッカーには本人の顔写真と名前が貼って分かりやすくしてある」「まだ年齢的にも知的障害も判断できない状態だが、目の前のものには興味を持っているので」「娘は重度心身障害児ですが、過ごしやすいバリアフリーです」</p>    |
| <p>④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか<br/> <b>はい14 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0</b><br/> <b>意見</b> ・「なっている」「子どもが帰宅した後、消毒実施していたので安心した。歯ブラシは食器と別で洗い、個々で管理のほうが清潔だと思う。今は全員分まとめて食器と洗ったり1か所に片づけたりしているが、別のほうが感染管理や清潔面においてもよいかと思う。使ってい</p>                  |

ない歯ブラシは処置したほうが良いと思う」

### 適切な支援の提供

|   |
|---|
| ④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか<br>はい12 (86%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%) 無回答1 (7%)<br>意見 ・「あまりスタッフさんと話す機会もないのでよく分からない」「ゆっくりですが毎日変化する発達を、しっかり見ていただいています」「『まとめ』は本人の様子や家族のニーズに応じてこまかく日を追って記載してある」「(まだ通い始めて間もないので) まだもらっていません」  |
| ⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか<br>はい13 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 無回答1 (7%)<br>意見 ・なし  |
| ⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか<br>はい12 (86%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%) 無回答1 (7%)<br>意見 ・「されていると思う」「個々に添った支援になっています」   |
| ⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか<br>はい13 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%)<br>意見 ・「毎日の遊びは、日々計画されており、遊びの中でも個別性を持って取り組んでくれている。障害があってもダイナミックな遊びを取り入れて下さり、自宅では経験できないことをしていただき感謝しています」「なんとなくノートに書いてある内容的には同じようなものを毎週行っている印象はある」「いつも家ではできないような先生方の工夫いっぱい遊びに本人は夢中な様子です」「様々なプログラムをしてくださり、家ではできないような豆遊びなど子どもが大好きで、たまに洗濯物に豆が入っていると笑っています」 |
| ⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか<br>はい9 (65%) どちらともいえない3 (21%) いいえ0 わからない2 (14%)<br>意見 ・「コロナが落ち着いたら、交流させてほしい」「たまに夏頃に若草公園まで行ったりしていたが、交流は、?です」「コロナがあるので仕方ないが、園庭で遊ばせてもらう等の交流はあるが、子供どうしの交流ができないのが残念」「コロナで活動もかぎられる」「コロナ禍で少なくなっているのは残念ですが、交流して砂場で遊んでいるのを写真で拝見して、一緒に遊んでいる姿を見られて嬉しくなりました」「他幼稚園と交流されています」                |

### 保護者への説明等

|   |
|---|
| ⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか<br>はい14 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0<br>意見 ・「説明された」「入所時、保護者説明会でも聞いた」  |
| ⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか<br>はい12 (86%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 無回答2 (14%)<br>意見 ・「面接の際など『まとめ』として1つ1つ説明してくれている」「毎月面談があり、子供の様子を詳しく教えていただいています。安心して先生方にお任せしています」    |
| ⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか<br>はい12 (86%) どちらともいえない0 いいえ1 (7%) わからない1 (7%)<br>意見 ・「子どもの特性に関して特別な知識もなく、日々手探り状態でおやの情緒も不安定なため、思い悩む毎日です。それでも都度思った事、小さな疑問にも耳を傾けて下さるので、こんな事聞いたら…とか、言ったら…と思って後回しにせず、なんでも聞いてみようと思って、先 |

|   |
|---|
| <p>のばしにせず言いたいことを言える関係がありがたいし、心の支えとなっています。そのため、子どもの事に関しての不安も1つ1つ解消されているというか、1人で抱え込んでいる事なく、気持ち的に軽くさせてもらえているのは、先生方のおかげだと思います。ささいな事でも教えて下さるとうれしく思ったり、気付きがあったり、その中でうまくいかなくても相談できる、話せる環境があるということは、本当にありがたい事です。その中で、先生方の知識や経験、子どもの状況に応じて、日々考えて下さっている事、感じています」「子どもの障害の特性はたくさんあり、親もドクターや自身でも勉強しているはず。月1回の面談などおこなってアドバイスなどあるはず」「先生方と一緒に子育てをしているような心強い気持ちになります」「学習会とても勉強になります」</p>   |
| <p>⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか<br/>はい14 (100%)    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0</p> <p>意見 ・「ノートで共有したり、状態は分かりやすい」「送迎の際にも園での様子を聞けますし、連絡帳にもたくさん様子を書いて頂けて、毎日読むのが楽しみです」「健康状態は伝えている」「連絡帳だけでなく、日々の送迎の際に子供について園での様子を教えてもらって安心です」「去年は今までになく我が家にとっても私(母)にとってもいろいろと不運が重なった年でした。家庭内や子ども達の変化も激しく、その中で私も子ども達も日々生きていく事が精一杯といった状態です。「今もですが、多くの不安や悩みが尽きる事はありません。そのような中、子どもの様子をうかがったり、情報共有してもらったりする事で、1つ1つ不安や問題に呈して軽くして乗らって、助けてもらっています。いつも思うのですが、我が子だけでなく、多くのお子さんを先生方は日々みている中で、多忙な業務をこなしながらも、我が家の状況を考慮して柔軟に対応してくださっています。コロナ休園時には、多くの先生方に業務の範囲に関係なく支えていただきました。子ども達にも、私自身にも経験した事のない事、想像を超えて色々な事が起こると説明する事さえも耐え難い気持ちになったりもしますが、ひまわり教室のサポートがあったからこそ、この程度ですんだ…、今日も1日過ごせた…と感謝しかありません。先の事はわかりませんが、子ども達が自分らしく、楽しく過ごせる中で1つずつできる事が増えるとうれしく思います。一緒に考えて相談させてもらえるとうれしいです」</p> |
| <p>⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか<br/>はい14 (100%)    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0</p> <p>意見 ・「私はあまり参加していませんがやっています」「日頃から、子供の様子は細かく教えて頂け、面談出さらに広く相談させていただいています」「月に1回面談している」「1ヶ月に1度支援を頂いています(面接)」</p>   |
| <p>⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか<br/>はい14 (100%)    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0</p> <p>意見 「LINEなどで保護者同士の連絡などできています」「定期的に実施されている」「定期的に支援してもらっています」</p>  |
| <p>⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか<br/>はい14 (100%)    どちらともいえない0    いいえ0    わからない0</p> <p>意見 ・「障害のある子の付き添い入院の際、きょうたいのことについて(相談したが)、数日後返答してもらった」「対応してくれている。気になることや不安なことに対して迅速に対応してくれた」</p>   |
| <p>⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか<br/>はい13 (93%)    どちらともいえない0    いいえ0    わからない1 (7%)</p> <p>意見 ・「2か月に1回学習会があり、保護者同士の意見交換の場になっている」「しっかりやり取り</p>  |

|  |   |
|--|---|
| していただいています」  |   |
| ⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | はい14 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0 (%)  |
| 意見   | ・「時々プリントが配られている」「『でこぼこ通信』を見るのをいつも楽しみにしています。何度でも読んでいます」「発信されている。ひまわり教室日より、でこぼこ通信、学習会のおしらせなど」「いつも会報をいただいています」 |
| ⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか  | はい12 (86%) どちらともいえない0 いいえ1 (7%) わからない1 (7%)   |
| 意見   | ・「アルバイトさんの子どもと一緒に職場で働いており、職場でそれについて話をされたり、子どもの事を(通っているなど)他人に話したりすることは、プライバシーの侵害になると思う」「どのように管理されているか分からない」  |

### 非常時等の対応

|  |  |
|--|--|
| ⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | はい12 (86%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない2 (14%)  |
| 意見   | ・「時々おこなっているのかな?ノートに書いてあったような…」「マニュアルが存在していることを知らない」<br>*マニュアルは毎日持参する鞆の、各自のファイルに常時入れてあります。                                |
| ㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                                    | はい13 (93%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない1 (7%)   |
| 意見   | ・「時々おこなっているのかな?ノートに書いてあったような…」「災害時の物品の管理、準備がなされており、時々避難訓練を行っている」「行われています」<br>*近隣事業所合同で年に2回、教室独自で数回行っています。なるべくたよりにて報告します。 |

\*緊急時対応マニュアル・防災マニュアル・感染症対応マニュアルは、子ども一人ひとり医療ノートと共に、緊急対応の表を作成し、毎日持ってくる袋に入れてあります。

\*避難訓練も、子どもたちが驚かないように、混乱のないように、やっています。

\*非常用電源は2台、玄関の風除室に常時置いてあります。

### 満足度

|                    |  |
|--------------------|--|
| ㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか | はい12 (86%) どちらともいえない1 (7%) いいえ0 わからない1 (7%)  |
| 意見                 | ・「きっと家で過ごすのも、通所で色々な子の動きを見るのも刺激になっているとは思う」「朝、ドアベルが鳴ると、エへへと笑います。先生に抱っこされると笑顔で手をふって教室が楽しい事が良く分かります」「毎日楽しみにしています」「笑ったりしているみたいなので、おそらく楽しんでいる」「いつも先生方が迎えに来て下さると、ニコニコと通所に向かいます。ひまわりが大好きなようです」 |
| ㉓ 事業所の支援に満足しているか   | はい14 (100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0   |
| 意見                 | ・「今は特にこれ以上して欲しいことはなく、満足です」「教室のお蔭で出来る様になった事がたくさんあります。先生方が、いつもサポートして下さる事に感謝しています」「ひまわりがなかったら、共働き出来ていなかったので感謝しています」「大変満足しております。いつもありがとうございます」   |

### <児童発達支援事業 (I部) 保護者評価を読んで>

質問項目は23個あり、そのうち10項目で肯定的評価(「はい」)が100%でした(昨年度は17項目)。全体として肯定的評価が高かったといえますが、今回は「わからない」「無回答」が合わせて5.3%ありました(昨

年は 1.6%)。通い始めたばかりの子もいてこういう結果になった面もありますが、これまで以上に保護者との連絡を密にし、信頼関係を深めるよう努めたいと思います。

今回、秘密保持に関して十分な認識の共有ができていないことが指摘される事例がありました。今後の重要な課題としていきたいと思います。

記述式の回答で、多くの意見を寄せていただきました。励まされるが多い一方で、注意を喚起されるものもありました。一つひとつを大切に受け止めていきます。

## (2) 「職員からの児童発達支援事業所自己評価の集計結果」

金沢市障害児通園施設ひまわり教室 職員数 6人 回収数 6人 割合100%

<回答の分析結果は表2の通り>・質問は6つの領域に分かれていて、全部で47個の問い。

表2 児童発達支援事業自己評価に関する質問の職員からの回答の集計結果 ( )内はパーセント

|                    | はい         | いいえ      | 合計        |
|--------------------|------------|----------|-----------|
| 環境、体制整備 (①～④)      | 21 (87.5)  | 3 (12.5) | 24 (100)  |
| 業務改善 (⑤～⑨)         | 29 (96.7)  | 1 (3.3)  | 30 (100)  |
| 適切な支援の提供 (⑩～⑳)     | 60 (90.9)  | 6 (9.1)  | 66 (100)  |
| 関係機関や保護者との連携 (㉑～㉓) | 60 (90.9)  | 6 (9.1)  | 66 (100)  |
| 保護者への説明責任等 (㉔～㉖)   | 47 (87.0)  | 7 (13.0) | 54 (100)  |
| 非常時等の対応 (㉗～㉙)      | 39 (92.9)  | 3 (7.1)  | 42 (100)  |
| 合計                 | 256 (90.8) | 26 (9.2) | 282 (100) |

### 環境・体制整備

|  |
|--|
| ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である<br>はい6 (100%) いいえ0<br>工夫している点 ・夏休みなど年齢の幅が広いときは狭く感じますが、外出したり部屋を入れ替えたりして工夫している。  |
| ② 職員の配置数は適切である<br>はい5 (83%) いいえ1 (17%)<br>工夫している点 ・毎日基準に応じた人数が配置されているか確認している。おおむね適切だと思うが、放デイの子が来ている時は少ないこともある。人員配置基準を満たしている。有資格者の配置もなされている。実質上欠員の補充は対応できていない日があり、助け合ってやっている。<br>改善点 ・パートさんで補っているが、本当は職員が必要。  |
| ③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている<br>はい5 (83%) いいえ1 (17%)<br>工夫している点 ・建物自体がバリアフリー化されている。特にトイレはどの子でも利用できるように寄りかかって座れるオマルを置くなど工夫している。トイレなどにイラストを貼り付けている。バリアフリーについては、段差等は問題なし。<br>改善点 ・どんな子でもできるかぎり自分で動いたりできるように環境には配慮している。<br>・玄関の近くにスタッフの顔写真と名前が貼ってあってもいいと思う。<br>・「わかりやすく構造化」という点では視覚的配慮は見直しが必要。手話による伝達も十分と言えない。 |
| ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている<br>はい5 (83%) どちらともいえない1 (17%) いいえ0  |

|         |   |
|---------|---|
| 工夫している点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、子どもが帰った後、掃除・遊具の片付け・消毒をしている。特にコロナのこともあり、例年よりも消毒などに気を付けている。空気清浄機は5台使用している。次亜塩素水製造器も利用し、子どもが使うゾーン、食事のところで使用している。床やトイレはハイター消毒もしている。活動ごとに掃除している。使用したタオル・シーツなどは毎日交換している。</li> </ul>  |
| 改善点     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見られたくないプライベートゾーンに関する配慮の点、おむつ替えについて、玄関から丸見えになりやすいので注意が必要ではないかと思う。やわらかめの軽い物でいいので、衝立を置くか、和室でおむつ替えをした方がいいと思う。中・高生もいるので、その子らにとっても、小さい子のおむつ替えは見直したい。</li> <li>・片付けができていない時もあるので気を付けている。努力しているが、整理などをする時間がもう少し出来たら、と思う。</li> </ul> |

### 業務改善

|  |   |
|--|---|
| ⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している<br><b>はい5（83%）</b> <b>いいえ1（17%）</b>  |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1度のミーティングなどの時間に、子どもの確認・業務の確認等、いろいろな確認を行っている。改善すべきところは職員全員で取り組んでいる。一人一人の個別支援計画の見直しを2か月に1度行っているが、その時の確認を行っている。</li> </ul>                     |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員参加は難しい。パートさんを含め、全員研修をやったのは良かった。テーマをしばり、具体的に企画立案について「意見を出し合える時間が必要。工夫していきたい。</li> <li>・新しいパートの方々に分かりにくいところなどを聞かれることで改善につなげていけている。</li> </ul> |
| ⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている<br><b>はい6（100%）</b> <b>いいえ0</b>  |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の評価を受けたり、保護者の意向を聴いたりしながら、職員で話し合い、意向を活かせるように改善に努めている。それを解放で報告している。</li> </ul>   |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のアンケートの結果を受け、また取り組んでいく。</li> </ul>  |
| ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している<br><b>はい6（100%）</b> <b>いいえ0</b>                                  |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年アンケートを実施し、結果をスタッフで共有したり改善する点は早くに見直したりと確認している。その結果を、金沢市のホームページで公表している。また、2か月に1度発行している『ひまわり教室だより』でも公表している。お母さん達との学習会でも報告している。</li> </ul>      |
| ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている<br><b>はい6（100%）</b> <b>いいえ0</b>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は外部評価を第三者に依頼し、母親の会の文集について評価をうけた。ホームページと教室だよりに掲載して公開した。</li> <li>・教室独自に頼んでいる第三者委員にお願いし、2年に1度は行うことにしている。</li> </ul> |   |
| ⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している<br><b>はい6（100%）</b> <b>いいえ0</b>  |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の機会を大切にし、各研修の機会を見つけ、zoom参加も含め、参加した。年に一度実践検討会を行った。教室内で、スーパーバイザーによる勉強会を月に数回行った。人権や医療的ケアの講習会・虐待の研修会などに参加した。</li> </ul>                         |

|            |  |
|------------|--|
| <b>改善点</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間での勉強会や研修（外部）に参加したことは話し合いで出して共有した。</li> <li>・コロナが収まり、外部の研修に参加できることがもう少し増えることを願っている。</li> </ul> |
|------------|--|

**適切な支援の提供**

|   |   |
|---|---|
| <b>⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している</b>   | <p>はい6（100%）      いいえ0</p> <p><b>工夫している点</b> ・子どもたち全員、2か月に1回個別支援計画を作成している。子どもの様子を記録からたどり、また保護者のニーズを相談の機会などから聴き、支援計画を作成した。これからの課題をどうしていくかを職員で話し合いをしている。その記録をもとにお母さんと話し合っている。</p> <p><b>改善点</b> ・職員間の確認をもっと密にしていけたらと思う。</p>                                 |
| <b>⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している</b>   | <p>はい6（100%）      いいえ0</p> <p><b>工夫している点</b> ・一般的な発達検査を入室時に行っている。保護者の方からの聞き取り用の個人表は全員同じものを使用している。</p>   |
| <b>⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている</b> | <p>はい6（100%）      いいえ0</p> <p><b>工夫している点</b> ・2か月に1度行っている支援計画の項目は、「日常生活」「体」「手指」「人間関係」「興味関心」「理解」「情動」等に分けて最近の様子をまとめ、各々ねらいを設定し、それに沿って支援している。ガイドラインで示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を適切に選択した具体的な支援内容となっている。</p> <p><b>改善目標</b> ・足りない部分もあると思うが、それは今後の課題とする。</p>            |
| <b>⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている</b>  | <p>はい6（100%）      いいえ0</p> <p><b>工夫している点</b> ・日々の支援記録をたどり、適切な関りをしてきたか、これからどのような支援が必要かなどを、職員間で話し合い、日々の保育をしている。ねらい（課題）に合わせ支援している。2か月に1度見直しを行っているが支援計画以外にもその時々の子どもたちの様子を見ながら適宜振り返りを行った。子どもの声を聴き、子どもの動きに合わせて柔軟に支援を行えるように努めている。</p> <p>・職員間で気かけながら支援をしている。</p> |
| <b>⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている</b>   | <p>はい6（100%）      いいえ0</p> <p><b>工夫している点</b> ・活動プログラムの立案をチームで行っている。次週の活動プログラム（週案）を週末に職員で確認して立て、それを一斉メールで回している。毎日、次の日の予定も回して確認を取っている。</p> <p><b>改善点</b> ・パートさんたちにも回すようにしたい。</p>  |
| <b>⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している</b>   | <p>はい5（83%）      いいえ1（17%）</p> <p><b>工夫している点</b> ・毎週、毎日違う遊びを設定し、毎回違う職員が考えている。先週していない遊び（活動）を次週に盛り込むようにしている。子どもの様子に合わせ、新しいものを取り入れている。</p> <p><b>改善目標</b> ・固定化は必ずしもマイナス面ばかりではないが、マンネリ化をして意欲が上がらないということにならないように工夫していきたい。さらなる工夫・学習・準備</p>                      |

|  |   |
|--|---|
| の時間の確保が必要。   |   |
| ⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している<br>はい5 (83%)                      いいえ1 (17%)        |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の活動や育ちは大切にしながら、集団での活動にも参加できるように考えてやっている。</li> <li>・日々の支援記録をたどり、適切な関りをしてきたか、これからどのような支援が必要かなどを、職員間で話し合い、日々の保育をしている。ねらい(課題)に合わせ支援している。2か月に1度見直しを行っているが、支援計画以外にもその時々の子どもの様子を見ながら適宜振り返りを行った。子どもの声を聴き、子どもの動きに合わせて柔軟に支援を行えるように努めている。</li> </ul> |
| ⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している<br>はい6 (100%)                      いいえ0           |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・曜日ごとに1日の担当職員が決まっている。その職員が毎朝1日の打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や職員の動き・役割分担について確認している。</li> </ul>  |
| ⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している<br>はい3 (50%)                      いいえ3 (50%) |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の勤務の時間帯がずれているので、全員参加はできないが、支援終了後には翌日の迎いの確認等を行っている。気になった点・共有すべき事項・重要事項等の話が出された場合は、メモに書いて貼りだしたり、その日のうちに電話やメール連絡をしたりしている。毎日やれないこともあるので週に1回行っているミーティング時に確認している。子どもの支援で重要な事項があれば必ず打ち合わせをしている。</li> </ul>                                       |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の振り返りは各自ですべてでも、共有していないこともあるので、話し合う機会をもつことが必要。</li> </ul>  |
| ⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている<br>はい6 (100%)                      いいえ0                     |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援をケース記録に記入している。ケース記録は一人の子に対して、「設定遊びの様子等の記録」と「あいさつ・食事・排泄・午後の様子等の記録」の2冊がある。この記録を基に、2か月に1回まとめ、支援計画を作成している。この時に子どもの課題を設定し、保護者にも説明をしている。そしてまた2か月後に見直しをしている。必要な時は適宜、見直しをし、確認している。</li> <li>・他に、1日の記録「保育日誌」、設定遊びの記録「遊び全体」を記録している。</li> </ul>   |
| ⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している<br>はい5 (83%)                      いいえ1 (17%)               |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画は2か月に1回行っている。⑲と同じ。見直しの必要がある場合はその機会に関わらず、適宜確認している。</li> </ul>  |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しが遅れ遅れになったり、それによって支援が改善されないままにきていたりしたことがあったので、改善していきたい。話し合いの機会を増やすことにしたので、見直しについて多くの意見を聞き、タイミングを逃さず、やっていけるようにしていきたい。</li> </ul>   |

#### 関係機関や保護者との連携

|   |  |
|---|--|
| ㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している<br>はい6 (100%)                      いいえ0 |  |
|---|--|



|  |   |
|--|---|
| 工夫している点  | ・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。  |
| ②② 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている<br>はい6 (100%)  いいえ0   |   |
| 工夫している点  | ・連携が必要な場合は、病院でのカンファレンスに参加したり、行政とも連携をとったりして支援を行っている。保育所等訪問支援事業を行っているので、保育園や小学校などと連携した支援を行っている子もいる。<br>・親の会「つながりの会」と連携している。 |
| ②③ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身の障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている<br>はい6 (100%)  いいえ0 |   |
| 工夫している点  | ・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、医療との連携は必須である。また、通っている子が次に行く保育園や幼稚園、学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。必要があれば、出かけて行って引き継ぎをしている。    |
| ②④ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている<br>はい5 (83%)  いいえ1 (17%)         |   |
| 工夫している点  | ・連絡体制を整えている。必要書類を作成し、医療行為の研修もしている。嘱託医とも連携をとっている。<br>・薬が変わったときなど、その都度書類をコピーもらい、確認している。<br>・緊急連絡先など、何かあった時の動きは確認している。       |
| ②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている<br>はい6 (100%)  いいえ0                 |   |
| 工夫している点  | ・通っている子が次に行く保育園・幼稚園や学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。保育園・幼稚園や学校へ行き、直接話をすることもある。<br>・就園後に、子どもが通っている子ども園や幼稚園・保育園へ出向き、連携をとるようにしている。     |
| ②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている<br>はい6 (100%)  いいえ0                             |   |
| 工夫している点  | ・通っている子が次に行く学校には、引き継ぎの書類を作成し渡している。就学後に、訪問し、話をすることもある。<br>・相談支援の担当者会議にて共有することもある。その後、月に1回保育所等訪問支援を行ったりもしている。               |
| ②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けている<br>はい4 (67%)  いいえ2 (33%)                  |   |
| 工夫している点  | ・定期的にはしていない。相談支援の担当者会議で共有することはある。<br>・サービス管理責任者の事業所連絡会で研修を受けている。  |
| 改善点  | ・機会はあまりないがつながれたらいいと思う。モニタリングの際には話をさせてもらうことはあるが、研修を受けることは積極的にはしていない。機会があれば参加したい。   |
| ②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある<br>はい6 (100%)  いいえ0                                       |   |

|   |  |
|---|--|
| 工夫している点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度もコロナでむずかしい状況。幼稚園の交流保育にも行けなかったが、園庭で一緒に遊ぶことはできた。通常であれば、教室の近所の幼稚園と交流保育を行っている。</li> <li>できるだけ公園や児童館へ遊びに行くようにはしたが、回数は少ない。</li> </ul>  |
| 改善点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は少なかったので、来年度からは増やしていきたい。</li> </ul>  |
| ②⑨ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している                   |  |
| はい3 (50%)   | いいえ3 (50%)   |
| 改善点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>金沢市市民フォーラムには参加したが、それ以外は参加していない。機会があれば、参加していく。</li> </ul>  |
| ③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている             |  |
| はい6 (100%)  | いいえ0   |
| 工夫している点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>送迎の時に話をしたり、連絡帳のやり取りをしてその日にあったことを確認し合ったりしている。保護者と話をするようにしている。月に1、2回個人面談をしている。月に1回、お母さんたちと学習会を行っている(テーマは子育て・就学就園・発達に関する学習等いろいろ)。何かあった場合はいつでも話を聴くことにしている。お母さん達とは、個別支援計画について2か月に1回、課題について確認している。子どもの発達の状況や課題について共通理解できるよう努めている。</li> </ul>  |
| 改善点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>伝え合っているが、不十分な点もあるかと思うので、より一層親の人の思いを聴いていくよう努めたい。</li> </ul>  |
| ③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている |  |
| はい6 (100%)  | いいえ0   |
| 工夫している点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>③⑩の設問の答えと同じように、教室でやっていることを伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解に努めている。家族の支援も子どもたちの支援同様、大切にしている。</li> <li>ペアレントトレーニングなどのプログラムについて知っている必要はあるが、親の人の支援は本当はプログラムにのらないところが多くあると思うので、自己研鑽をして支援をしていきたい。</li> <li>月に1回、主にお母さんたちと学習会を行っている(テーマは子育て・就学就園発達に関する学習等いろいろ)。お母さん同士、自分の話を他の人に聴いてもらったり、他の人の話を聴いたりすることで、お母さんの気持ちが落ち着いたりすることがある。</li> </ul> |

#### 保護者への説明責任等

|   |  |
|---|--|
| ③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   |  |
| はい6 (100%)  | いいえ0   |
| 工夫している点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>重要事項説明書・契約書等、通室契約時に説明している。運営規定は教室内に張り出してある。</li> </ul>                              |
| ③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている |  |
| はい5 (83%)   | いいえ1 (17%)   |
| 工夫している点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、教室で行っている支援計画の内容を照らし合わせ、確認はしている。</li> </ul> |

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室では、子どもたち全員について、2か月に1回個別支援計画を作成している。毎日の記録の2か月間を振り返って記述し、ねらい（課題）がどの程度達成されたか、これからの課題をどうしていくかを、職員で話し合っている。</li> <li>・その記録をもとにお母さん達に内容説明と同意を得ているがガイドラインと合わせて説明はしていない。</li> </ul>  |
| <p>③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている</p>                              | <p>はい6 (100%)    いいえ0</p>  |
| <p>工夫している点</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さん一人に対して、月に1回個人面接を行っている。お母さんの話を傾聴し必要に応じて助言している。送迎の際にも話す機会がある。2か月に1回学習会も行って話し合っている。</li> <li>・送迎時などでも話す機会はある。また、連絡帳のやり取りも毎日行っているため、お聞きした時には随時対応している。</li> </ul>   |
| <p>③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している</p>                               | <p>はい4 (67%)    いいえ2 (33%)</p>   |
| <p>工夫している点</p> <p>改善点</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月に1回父母合同学習会を行った。それぞれの家族の話を聴く機会はある。</li> <li>・例年は、年間に数回の行事もあり、お父さんも参加しやすいように日曜日に行っている。家族同士がつながることができる機会になっているが、今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、ほぼ行なえず、連携の支援はむずかしかった。</li> <li>・コロナで行事が少ないこともあり、不足していると思う。</li> <li>・来年度はコロナの心配がなく、色々な行事が開けることを願う。</li> </ul> |
| <p>③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している</p> | <p>はい6 (100%)    いいえ0</p>  |
| <p>工夫している点</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・何かあった場合はいつでも話を聴くことにしている。実際相談に来ている。</li> <li>・児童発達支援を利用しているお母さんとは個人面接を月に1、2回行っている。</li> </ul>   |
| <p>③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している</p>                           | <p>はい6 (100%)    いいえ0</p>  |
| <p>工夫している点</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2か月に1回「ひまわり教室だより」を発行している。</li> <li>・「でこぼこ通信」が年に12回以上発行している。子どもたちの様子を中心に、活動概要や行事予定、連絡体制等も発信している。</li> </ul>   |
| <p>③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している</p>  | <p>はい6 (100%)    いいえ0</p>  |
| <p>工夫している点</p> <p>改善点</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に注意・配慮している。失敗があることも否めないため、失敗した時は、その後のことを迅速に対応していく。</li> <li>・個人情報の取扱いに注意はしているつもりだが、これまで以上に気にかけていきたい。</li> </ul>  |
| <p>③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている</p>  | <p>はい6 (100%)    いいえ0</p>  |
| <p>工夫している点</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。「子どもの声を聴く」ことを大事にして関わった。ていねいに保護者とのコミュニケーションをとるようにした。</li> <li>・③⑩③⑪③⑫③⑬と同様。</li> </ul>   |
| <p>④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている</p>   | <p>はい2 (33%)    いいえ4 (67%)</p>   |

|                |   |
|----------------|---|
| <b>工夫している点</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に向けて、「共生の文化講座」を今年度も企画したが、新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。来年度はぜひとも行いたい。</li> <li>・教室の見学等はいつでも受け入れている。</li> </ul> |
|----------------|---|

**非常時等の対応**

|   |  |
|---|--|
| ④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | <p>はい5 (83%)                      いいえ1 (17%)</p> <p><b>工夫している点</b> ・緊急時対応マニュアル・子ども一人ひとりの医療ノート・防災マニュアル・感染症対応マニュアルは、子どもが毎日持ってくる袋に入れておくようにしている。</p>   |
| ④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | <p>はい6 (100%)                      いいえ0</p> <p><b>工夫している点</b> ・避難訓練は年に数回行っている。子どもの避難だけでなく、必要な物品を運び出す訓練も同時に行った。<br/>実施の様子は、「でこぼこ通信」に載せ、保護者に発信した。<br/>・火事・地震に分けて避難訓練を行った。また、法人で行っている避難訓練にも参加している。</p> <p><b>改善点</b> ・もう少し訓練のやり方を考える。</p>                                       |
| ④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している  | <p>はい6 (100%)                      いいえ0</p> <p><b>工夫している点</b> ・事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。子どもたち一人ひとりについて「医療ノート」を作成し、服薬の様子や発作のこと等を記している。緊急時の対応表等も作成し、毎日持って来る鞆に、常に入れている。1年に1回確認し直している。<br/>・薬が変わった時は、その都度確認し、日々のケースにも記録している。</p>  |
| ④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | <p>はい6 (100%)                      いいえ0</p> <p><b>工夫している点</b> ・食物アレルギーのある子どもがいる場合は、お母さんからの聞き取りをし、医師の指示書に基づく対応をしていく。</p>  |
| ④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | <p>はい4 (67%)                      いいえ2 (33%)</p> <p><b>工夫している点</b> ・ヒヤリハット事例集は作成していない。ヒヤリハットの案件があった場合は職員で集まって、起こった理由、これからの対処法等を確認している。また起こったことは日々記録しているケースに書いている。また、2か月に1回作成している支援計画で確認し、職員間で共有している。</p> <p><b>改善目標</b> ・ヒヤリハットが起こった場合、ケース記録を複写して「事例集」とし、事業所内で共有するようにした。</p> |
| ④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | <p>はい6 (100%)                      いいえ0</p> <p><b>工夫している点</b> ・伝達研修を実施したり、できる限り研修を受けたりしている。毎年、県と市で行われるので、それぞれ参加している。</p> <p><b>改善点</b> ・更に継続的な研修が必要。きびしく自分たちの言動を見直すことができるよう努めたい。</p>   |
| ④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | <p>はい6 (100%)                      いいえ0</p> <p><b>工夫している点</b> ・座位保持椅子や車椅子を使用している子どもの保護者に事前に十分に説明し了解</p>  |

を得た上で座らせるようにし、児童発達支援計画に記載をしている。

#### <児童発達支援事業（I部）職員の自己評価を読んで>

全体として、自己評価は高いものとなっています。それぞれの点に関して、日頃からかなり気にかけてながら取り組んでいるので、それが表れているものと思います。

細かくみていくと、いくつもの課題が見えてきます。例えば職員配置については、日によってはぎりぎりのところでやっている、フルタイム職員が不足しているという問題があります。また、子どもの課題の確認や活動の振り返りなどを行える時間がなかなか取れない、という問題もあります。放課後等デイサービス事業もしているため、そちらに何人もの職員が関わることになり、ゆっくりと話し合える時間が取れない状況が、ここ数年ずっと続いています。

他の機関との連携などについては、必要に応じて話はしているものの、十分なものとは言えません。そこに時間を割くだけの人数がいないのが実情です。ひまわり教室の取り組みが地域の人たちに開かれたものになっているか、については、否定的評価が多くを占めていました。コロナ禍もあり、これも止むを得ない点と思います。

放課後等デイサービスも行いながら、児童発達支援の質を落とさないための工夫・努力を、今後とも重ねていきたいと思っています。

## 2. 放課後等デイサービス（Ⅱ部）

### （1）「保護者等からの放課後デイサービス事業所評価の集計結果」

事業所名 金沢市障害児通園施設ひまわり教室 保護者等数24人 回収数24人 割合100%  
 <回答の分析結果は表3の通り>・質問は5つの項目に別れていた、全部で18個の問い。

表3 「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果」

|                | はい        | どちらともいえない | いいえ    | 合計       |
|----------------|-----------|-----------|--------|----------|
| 環境、体制整備 (①～③)  | 69(95.8)  | 2(2.8)    | 1(1.4) | 72(100)  |
| 適切な支援の提供 (④～⑥) | 66(91.7)  | 6(8.3)    | 0(0.0) | 72(100)  |
| 保護者への説明等 (⑦～⑭) | 176(91.6) | 13(6.8)   | 3(1.6) | 192(100) |
| 非常時等の対応 (⑮～⑯)  | 45(93.8)  | 3(6.2)    | 0(0.0) | 48(100)  |
| 満足度 (⑰～⑱)      | 44(91.7)  | 4(8.3)    | 0(0.0) | 48(100)  |
| 合計             | 400(92.6) | 28(6.5)   | 4(0.9) | 432(100) |

#### 環境・体制整備

|   |
|---|
| ① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか<br><b>はい24(100%) どちらともいえない0(%) いいえ0</b><br><b>意見</b> ・「広い部屋が2つあり十分に体を動かしたりいろんな活動ができてよいと思う」「広い空間になっています」「部屋も廊下も広く活動しやすそう」   |
| ② 職員の配置数や専門性は適切であるか<br><b>はい22(92%) どちらともいえない1(4%) いいえ1(4%)</b><br><b>意見</b> ・「長期休暇時に預けられる日数が少ない」「職員の方々の何気ない一言ややりとりで、子どものことをよく理解しているんだなと思わされます」「医ケアの講習を受けてくれているので安心して通所できる」「学生やアルバイトの方もいて、いろんな人と関わっていいなと思います」 |
| ③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などのバリアフリー化の配慮が適切になされているか<br><b>はい23(96%) どちらともいえない1(4%) いいえ0</b><br><b>意見</b> ・「廊下に手すりがあるのは歩行練習にも良さそうです」「車椅子やバギーの子も不自由なく過ごせている」   |

#### 適切な支援の提供

|  |
|--|
| ④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか<br><b>はい23(96%) どちらともいえない1(4%) いいえ0 わからない0</b><br><b>意見</b> ・「中学入学に向けた活動計画ができれば有難いです」「自宅到着時刻が19時を過ぎると、職員さんの疲労も心配なので、放課後に遠出しなくても良いのでは、と思う。渋滞しやすい場所に自宅があるのも原因かもしれないですが」   |
| ④ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか<br><b>はい24(100%) どちらともいえない0 いいえ0 わからない0</b><br><b>意見</b> ・「いつもいろんな活動をしていて楽しそうです」「今年度は数回しか行けませんでした、プラネタリウムやいつも違う公園など、色々経験させてもらいました」「外出したり、外で遊んだりあまりしないこともさせてくれています」「曜日ごとにいろんな工夫がされていてありがたいです」「外出なども取り入れて楽しませてくれている」「あまり行けていませんが、近くの施設やショッピングモールなどの公の場所にも行って頂き、ありがたい」「コロナでむずかしいかもしれませんが、以前のように外出が増えて欲しい」「いつも楽しそうです」 |

|  |
|--|
| ⑤ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか<br>はい19 (79%)    どちらともいえない5 (21%)    いいえ0    わからない0  |
| 意見 ・「地域の学校に通っているので、日常で行われています」「たよりを読んで、子どもたちの学校の近くや、情報から新しい場所を探していることを読み、なるほど…と思いました。親・家族以外の人と公共の場で過ごす経験がすごく大切だなと思います」「コロナでむずかしいと思いますが…、温かくなったらまた公園でいろんな子とあそべたらいいなと思います」「晴れた日など外出してくれてありがたいです」「本人が見知らぬ子供との交流にストレスがある事もあるので、何とも言えない」「よくわかりません」「児童館や公園などでいろんな子どもと接する機会があり、嬉しいです」 |

保護者への説明等

|  |
|--|
| ⑥ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか<br>はい24 (100%)    どちらともいえない0    いいえ0   |
| 意見 ・なし   |
| ⑦ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか<br>はい24 (100%)    どちらともいえない0 (%)    いいえ0   |
| 意見 ・「子どもの様子をたくさん聞いて変化や成長を知ることができています」「送迎の際に活動の様子などを教えていただいています」  |
| ⑧ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか<br>はい22 (92%)    どちらともいえない2 (8%)    いいえ0   |
| 意見 ・「困ったりはなしを聞いてほしいときにはすぐに時間を作って下さったりアドバイスを下さっている。こちらの気持ちに寄り添うだけではなく、客観的な的確なアドバイスを頂けるので、家族一同信頼している」「定期的な相談、助かっています。これからもお願いします」「いつも親身になってくれて心強いです」   |
| ⑨ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか<br>はい15 (63%)    どちらともいえない8 (33%)    いいえ1 (4%)   |
| 意見 ・「軽度(?)の障害の子供の学校選びや先生との関わり方などについて聞く機会があるといいなと思います。支援ありきではなく、自立に向けての接し方など」「コロナ感染状況や高学年になったこともあって少なくなったと思います」「去年は、つながりの会の例会にも参加できてよかったです。もっといろんな他の保護者の方の話を聞いてみたいです」「学習会などで支援者や親の方々と話せる機会が多くあるが、なかなか参加できる機会が減ってしまったので、自分自身は『保護者同士の連携』というまでにはいたっていない」「よくわかりません」 |
| ⑩ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか<br>はい20 (83%)    どちらともいえない3 (13%)    いいえ1 (4%)  |
| 意見 ・「よくわかりません」「報・連・相ができていない」「わからない。苦情がないからですかね～」   |
| ⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか<br>はい23 (96%)    どちらともいえない0 (%)    いいえ1 (4%)   |
| 意見 ・「いつも連絡は取れるようになっていきます」「連絡帳や直接伝えてくれることで、その日の事がわかる」「職員間で情報が共有されていない」  |
| ⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか<br>はい24 (100%)    どちらともいえない0 (%)    いいえ0    わからない0  |
| 意見 ・「月刊誌など発行されています」「会報はいただいています、ホームページはないと思  |

|  |
|--|
| うので、今後あるといいと思います」 「教室だより。つながりのたよりでこぼこなど、いつも                    |
| 楽しみにしています」   |
| ⑭ 個人情報の取扱いに十分注意されているか<br>はい24 (100%)      どちらともいえない0      いいえ0 |
| 意見 ・なし   |

#### 非常時等の対応

|  |
|--|
| ⑩緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか<br>はい22 (92%)      どちらともいえない2 (8%)      いいえ0 |
| 意見 ・「定期的に行われています」 「マニュアルの書いたものを渡してくれている」   |
| ⑪非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか<br>はい23 (96%)      どちらともいえない1 (4%)      いいえ0 (%)                                |
| 意見 ・「定期的に行われているようです」 「訓練の様子をお便りで知らせてくれる」 「おたより等で      反省点などお知らせして、すごくいいです」   |

\*緊急時対応マニュアル・防災マニュアル・感染症対応マニュアルは、子ども一人ひとり医療ノートと共に、緊急対応の表を作成し、毎日持ってくる袋に入れてあります。

\*非常用電源は大きな容量のものを用意し、玄関の風除室に常時2台置いてあります。

#### 満足度

|  |
|--|
| ⑫ 子どもは通所を楽しみにしているか<br>はい23 (96%)      どちらともいえない1 (4%)      いいえ0  |
| 意見 ・「とても楽しみにしています」 「本人はもっと多くの回数行きたいようです。いつも満たされて帰ってきます」 「いつも楽しみにしています。ひまわりの日は朝起きてくるのも早く、前日からやる気マンマン!!これからも宜しく願います」 「毎日楽しみにしています」 「通所する日はとても嬉しそうにしている」 「とても楽しみにしていました」 「いつも楽しみにしています安心感があります (親も子も)」 「いつも行く日を楽しみにしています」   |
| ⑬ 事業所の支援に満足しているか<br>はい21 (87%)      どちらともいえない3 (13%)      いいえ0   |
| 意見 ・「現在月1回の利用ですが、回数が増えると本人が喜びます」 「布パンツで過ごすことができているので、本人もがんばっていると思うし、うまくトイレに誘ってもらっているおかげだと思う」 「満足というよりも本当にひまわりに出会えて良かったです。自分の人生も子どもの人生も変わったと思っている。いつもありがとうございます。入学後利用する回数が減ってしまったので、本人も寂しそうです。利用せず過ごせるのはよいことなのかもしれないけれど、やはり今後のことや、その時々本人や家の様子を知ってもらいたいと思うと、どのように利用していけばよいのかな…等と思うことはあります。たまに寄るだけでも嬉しそうなので、これからもよろしく願います」 「一斉メールなどのツールを使用してほしい。TELよりもメールの方がありがたい」 「安心してお任せできます」 「就学決定の際は相談にのって頂いてありがとうございました！」 「いつも支えていただきありがとうございます。遠足でもサポート、教委への同行など、本当に助かりました。今後ともよろしく願います」 「お迎えの時はいつも嬉しそうに笑っています」 「もう少し土曜日の利用ができるとうれしいです。他の事業所も利用していましたが、大きい男子がこわくて行けなくなりました。なので、ひまわりが安心していける場所のようです」 「家でできないこと、むずかしいことも支援してくれるのですごく助かります」 「いろいろ情報を頂けてとても助かっています」 「いつもありがとうございます。感謝しかないです」 「いろんな経験をしてほしいです (自分があまり外出させてあげられていないので)。お散歩や公園など外での活動をしてもらえると嬉しいです」 |



<放課後等デイサービス（Ⅱ部）保護者評価を読んで>

全体として、昨年度と同様高い評価をいただきました。「はい」の回答は、全体としては昨年度の90.7%から92.6%とわずかに増えました。

細かく見ると、「適切な支援の提供」が昨年度の78.6%から91.7%へと上昇しました。職員間で話し合いを重ね、過ごし方の工夫をしてきたことが、この結果につながっているのかな、と思います。今年度も教室と保護者との連絡・保護者同士の連携支援の点については、「はい」が63%と、たいへん低くなっています。実際問題として、利用回数の少ない子どもの保護者も含めながら保護者同士をつなげていくのはたいへん難しい面があります。

記述式の回答では肯定的な意見が多く寄せられていて、有難く思います。その一方で、「長期休暇時に預けられる回数が少ない」「職員間の情報が共有されていない」などの意見もありました。今後の活動に活かしていきたいと思います。

（2）職員からの放課後等デイサービス事業所自己評価の集計結果

金沢市障害児通園施設ひまわり教室 職員数 4人 回収数 4人 割合100%

<回答の分析結果は表2の通り>・質問は6つの領域に分かれていて、全部で43個の問い。

表2 「放課後等デイサービス事業自己評価に関する質問の職員からの回答の集計結果」（ ）内はパーセント

|                   | はい         | いいえ       | 合計        |
|-------------------|------------|-----------|-----------|
| 環境、体制整備 (①～③)     | 10 (83.3)  | 2 (16.7)  | 12 (100)  |
| 業務改善 (④～⑧)        | 19 (95.0)  | 1 (5.0)   | 20 (100)  |
| 適切な支援の提供 (⑨～⑱)    | 32 (72.7)  | 12 (27.3) | 44 (100)  |
| 関係機関や保護者との連携(⑳～㉑) | 31 (77.5)  | 9 (22.5)  | 40 (100)  |
| 保護者への説明責任等 (⑳～㉑)  | 27 (84.4)  | 5 (15.6)  | 32 (100)  |
| 非常時等の対応 (㉒～㉓)     | 23 (95.8)  | 1 (4.2)   | 24 (100)  |
| 合計                | 142 (82.6) | 30 (17.4) | 172 (100) |

環境・体制整備

|  |  |
|--|--|
| ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか<br>はい3 (75%) いいえ1 (25%)   | 工夫している点<br>・児童発達支援（Ⅰ部）と同じ施設を使用している。<br>・玄関から廊下は広く作ってあるので、子どもたちはよく走り回っている。全体的にゆったりしている。ベランダから外の広場（すぐ横に市の公園がある）や屋上へ出て遊ぶこともある。<br>・人数が多い時は部屋を分けたりして工夫はしているが、人数によっては狭いこともある。 |
| ② 職員の配置数は適切であるか<br>はい3 (75%) いいえ1 (25%)                | 改善点<br>・人員配置基準は満たしている。そのうえで、急な欠員の補充はパーの人を含め協力し合っているが不十分。送迎で、職員が入れ替わることが多いのでしっかり関われないこともある。<br>・児童発達支援事業と活動が重なる時は少ないと思うことがある。   |
| ③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか<br>はい4 (100%) いいえ0 | 工夫している点<br>・建物自体がバリアフリー化されている。<br>改善点<br>・中学生以上の子など、体の大きい子には狭く思えるところがある。   |

業務改善

|  |   |
|--|---|
| ④ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか<br>はい3（75%） いいえ1（25%）      |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いで確認のほか必要なことは話している。</li> <li>・今年度は、確認し合って、外部との交流の機会も増やした。</li> </ul>   |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パート職員が多くなり、「広く職員が参画しているか」ということになると、そこまで出来ていないのが現状である。パート職員も交えての全員研修会を行った回数や話し合う内容など、まだまだ足りないところがある。Ⅱ部の子どもたちについては話し合いが十分になされていない面がある。</li> <li>・こども1人1人の支援方法、自己振り返りなどについてはOJTで対応し、各職員と短い時間でも話し合うよう努めている。さらにテーマを絞った企画立案を話し合える時間に確保が必要。</li> </ul> |
| ⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか<br>はい4（100%） いいえ0 |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの意見は職員皆で確認し、改善できるものはすぐに対応している。</li> <li>・毎年行っているアンケートも含め、保護者の意向に沿うように対応している。</li> </ul>  |
| ⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか<br>はい4（100%） いいえ0                      |   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢市のホームページにて公開している。「ひまわり教室だより」でも発信している。</li> </ul>  |
| ⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか<br>はい4（100%） いいえ0                        |   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の第三者委員に依頼して行っている。</li> </ul>  |
| ⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか<br>はい4（100%） いいえ0                           |   |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内で勉強会を開催しているほか、外部の研修会にも参加している。他事業所との交流や実践検討会も行った。</li> </ul>  |

#### 適切な支援の提供

|   |  |
|---|--|
| ⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか<br>はい3（75%） いいえ1（25%） |  |
| 工夫している点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通ってきた日の子どもの様子の記録と家からの聞き取り（家での様子や主に通っている学校などの様子、希望など）を基に、半年に1回放課後等デイサービス計画を作成している。</li> </ul> |
| 改善点   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの「課題」について、家庭訪問などを行い、話し合うようにできればと思ったが、なかなか行けなかったため、なるべく時間を作っていく。</li> </ul>              |
| ⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか<br>はい2（50%） いいえ2（50%）                   |  |
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援（Ⅰ部）と同じものを使用している。</li> </ul>   |
| ⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか<br>はい3（75%） いいえ1（25%）                                       |  |

|  |  |
|--|--|
| <p>工夫している点</p> <p>改善点</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回利用するメンバーや人数が違うので、一人ひとりについての当面の課題を基本にしつつ、放課後等デイサービス（Ⅱ部）の予定を決めている。あらかじめ決めた予定はあるが、担当になった職員がその日に通ってくる子どもたちとで相談して変更することもある。その日のリーダーが、子どもたちと相談をして決めている（変更する）ことが多い。</li> <li>・利用している子どもたちの地域の児童館や公園を把握して、活動プログラムを決定していき、今年度は公共の場で過ごすことをメインに考えて活動内容を決めて動いた。</li> </ul>   |
| <p>⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか</p> <p>はい3（75%）      いいえ1（25%）</p>                          |  |
| <p>工夫している点</p> <p>改善点</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日と土曜日に放課後等支援を行っているが、⑪に書いたように行っている。土曜日は1か月ごとに毎回違う設定遊びを行った。平日の放課後に利用する子どもの顔触れがどの日も違うことや、教室に来る機会が少ない（月1回の子もいる）ことや時間が短いことなどから、本人が同じような遊びを求めることが多い。今年度はどちらも、コロナのこともあり室内で過ごすことが多かったが、天気の良い日には公園に出かけたり、いろいろな経験・体験ができるように工夫したりしている。色んな所・内容を工夫している。</li> <li>・コロナのことに十分に気をつけながら、児童館や公園に出かけることを増やしたり、地域の中で過ごすことで、児童クラブや他の地域で過ごせる場所とつなげる活動をしていったりしていく予定にしている。</li> </ul> |
| <p>⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか</p> <p>はい2（50%）      いいえ2（50%）</p>              |  |
| <p>工夫している点</p> <p>改善点</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑨⑩⑪と同じです。</li> <li>・長期休暇・土曜日は、Ⅰ部の子も交じっての集団活動（集団で遊びつつ、個別対応する）をしている。一人ひとりの課題を確認しながら状況に応じて支援している。大まかな課題を確認して対応している。</li> <li>・一人ひとりの課題を確認しながら状況に応じて支援しているが、応えきれていないこともある。</li> </ul>  |
| <p>⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか</p> <p>はい3（75%）      いいえ1（25%）</p> |  |
| <p>改善点</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑨⑩⑪⑬にあるように、計画を作成している。</li> <li>・⑫⑬⑭については、担当リーダー1人では準備の限界があり、十分な支援が行えていない日もある。そこで、きめ細やかな準備のため、複数で企画し準備をすすめるように工夫している。さらなる工夫と学習の機会や準備の時間の確保が必要。また、集団活動の際、「遊べる友がいない」などの理由から来たがらない子もいるので、改善努力できるところはしているが、全員の満足にはいかない。本人と話し合い尊重できるよう努めている。</li> </ul>  |
| <p>⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか</p> <p>はい3（75%）      いいえ1（25%）</p>  |  |
| <p>工夫している点</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎後、職員が顔を合わせ、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。職員全員がいるわけではないので、必要に応じて、確認したことをいない職員に電話連絡している。最低限の確認で、流動的である。</li> <li>・柔軟に対応している。子どもの状況に応じている。</li> </ul>   |
| <p>⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を</p>                                   |  |

|  |  |
|--|--|
| 共有しているか<br>はい1 (25%)      いいえ3 (75%)                                 |  |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅱ部の支援終了時は職員が揃っていないため、支援の振りかえりはできていないが、送りの車の中で確認したいことや話し合うことがあれば、メモを残したり電話連絡をしたりして気づきや必要な点を共有し、子どもの支援で重要な事項があれば必ず打ち合わせをしている。</li> <li>・後日振り返り、話し合いで確認を行っている。</li> </ul> |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の担当者間では共有しているが、全員への共有については充分ではないので改善していきたい。</li> </ul>   |
| ⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか<br>はい4 (100%)      いいえ0   |  |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の記録を取ることを大切にしている。その記録と家からの聞き取りを基に、おおむね半年に1回、支援計画を作成し、支援の課題について職員と確認をしている。</li> </ul>   |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認をしているが、回数が少ないので回数を増やす。</li> </ul>  |
| ⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか<br>はい4 (100%)      いいえ0 |  |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・⑰に書いたことに加え、見直しの必要な時には支援計画の見直しをする。半年に1回見直している。</li> </ul>   |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と確認をしているが、回数が少ない。</li> </ul>   |
| ⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか<br>はい4 (100%)      いいえ0           |  |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> </ul>  |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・共生社会の実現に向けた後方支援が課題である。</li> </ul>  |

#### 関係機関や保護者との連携

|  |   |
|--|---|
| ⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか<br>はい4 (100%)      いいえ0                     |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。職員に報告している。</li> </ul>  |
| ㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか<br>はい4 (100%)      いいえ0 |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から月間下校時間などをファックスでもらっている。迎える時間の急な変更等にも対応している。主には学校との連絡は保護者を通して調整している。</li> </ul>   |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・迎える連絡ミスで遅刻し、迷惑をかけることはゼロにならないので、ていねいなコミュニケーションをしていきたい。</li> </ul>  |
| ㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか<br>はい4 (100%)      いいえ0                             |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援と同じく整えている。主治医から研修をしてもらっている。</li> <li>・通室する回数が少ない子には、その都度家族に確認している。緊急の時は連絡できるように、毎日持ち歩く袋に入れてある（緊急対応表、医療ノートなども）。</li> </ul> |
| ㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか<br>はい4 (100%)      いいえ0                |   |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前に利用していた所のことや他の事業所での様子はお母さんを通して情報を得</li> </ul>   |

|   |   |
|---|---|
|   | ている。連絡を取る必要がある場合は連絡をしている。相談支援事業所からの情報も時にはある。担当者会議の時に提供し合う。  |
| ②④ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | はい3 (75%)      いいえ1 (25%)   |
| 工夫している点   | ・今のところそういうケースがないが、必要のある場合は情報提供をし、出向いて話し合いをする。   |
| ②⑤ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                      | はい1 (25%)      いいえ3 (75%)   |
| 工夫している点   | ・他にスーパーバイザーがいるので、基本的に受けていない。必要があれば、その時に考えていく。<br>・合同の研修会には参加している。<br>・機会があれば、参加する。<br>・モニタリングの際に話し合うことはある。積極的に研修を受けることはしていないので、機会をみつけて参加していきたい。 |
| 改善点   |   |
| ②⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                              | はい4 (100%)      いいえ0  |
| 工夫している点   | ・コロナの事もあったが、児童館や域の子どもたちが遊んでいる公園県立図書館など、公共の場所で遊ぶように心掛けた。できるかぎり地域の施設を利用して活動している。  |
| 改善点   | ・これからも公共の場で過ごせるように考えていく。その子の地域の子、そのほかいろんな子たちとの関わりを大切にしていく。  |
| ②⑦ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか  | はい0      いいえ4 (100%)  |
| 改善点   | ・金沢市の市民フォーラムには参加しているが、積極的に自立支援協議会に参加しているとは言えない。機会があれば参加していく。  |
| ②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                    | はい4 (100%)      いいえ0  |
| 工夫している点   | ・送り迎えの時を利用しコミュニケーションをとった。連絡帳のやり取りをしている。また、希望のある場合、個人面談で話を聴いている。月に1回、主にお母さんたちの参加する学習会を行っている。お母さんたちとは話をするようにしている。                                 |
| 改善点   | ・学習会のお知らせは小学校の高学年以上の人には出していない。「つながりの会」へ誘うことも考える。  |
| ②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか                   | はい3 (75%)      いいえ1 (25%)   |
| 工夫している点   | ・担当の職員がサポートしている。適宜相談の依頼があれば支援を行った。  |
| 改善点   | ・相談担当の職員以外の職員もなるべく親の人と話をするようにする。<br>・放デイの保護者に対しては学習会などもあまり行っていない。   |

#### 保護者への説明責任等

|  |                                |
|--|--------------------------------|
| ③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか         | はい4 (100%)      いいえ0           |
| 改善点  | ・抜けてしまうこともあるので、伝え方の工夫は必要だと感じる。 |
| ③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか |                                |

|  |  |
|--|--|
| はい4 (100%)      いいえ0   |  |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・㉔と同じ。</li> <li>・保護者からの子育ての悩みなどに対する相談があれば話を聴き必要な助言と支援を行っている。</li> <li>・必要に応じて日を決めて相談することもあった。</li> </ul>  |
| ③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                       |  |
| はい2 (50%)      いいえ2 (25%)  |  |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、お父さんたちにも参加してもらえるように日曜日に行事を開催するようにしているが、今年度はコロナウイルス感染防止のため、中止した。家族どうしの交わりの機会がなくなってしまい、残念だった。</li> <li>・保護者からの申し出があった時はその都度職員で話し合って対応している。</li> <li>・学習会の内容によっては、放デイの親の人も誘うことはあった。</li> </ul>   |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士が会うことはあまりない。また、小学校以上の保護者には発信できていない。</li> </ul>  |
| ③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか |  |
| はい4 (100%)      いいえ0   |  |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営規定や重要事項説明書に書いてあり、利用開始時に説明をしている。運営規定は見える所に貼り出してある。また、法人の方でも、第三者委員の名前を貼り出してある。</li> <li>・何かあった場合はいつでも話を聴く。希望がある場合に定期的に面接をしている。送迎時や、連絡帳のやり取りなどで連絡し合っている。こうしてほしいなどの要望のある場合には速やかに対応している。</li> <li>・苦情はあまりないが、家の事情などで大変そうな時は積極的にサポートできるように対応する。</li> </ul> |
| ③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                   |  |
| はい4 (100%)      いいえ0   |  |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校低学年までの保護者には学習会のお知らせを出している。</li> <li>・利用している全員に、毎月の利用希望を聞いたり、利用する日の送迎時間を確認したりする時に連絡事項を発信したりしている。また、おたより『でこぼこⅡ部』を一人一人の様子と避難訓練の様子などを載せ、発行した。</li> <li>・ひまわり教室全体で、2か月に1回『ひまわり教室だより』を発行している。活動概要・行事予定・報告・その他の情報などを発信している。</li> </ul>                     |
| 改善点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年以上の保護者には学習会のお知らせは発信できていない。</li> <li>・おたより『でこぼこⅡ部』をもっと発行回数を増やす。</li> </ul>  |
| ③⑤ 個人情報に十分注意しているか  |  |
| はい4 (100%)      いいえ0   |  |
| 工夫している点  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の管理には注意している。契約時に個人情報確認書を説明し、署名してもらっている。</li> <li>・子どもたちの写真や文章を出す時は、その都度保護者に確認を取っている。</li> </ul>  |
| ③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                |  |
| はい4 (100%)      いいえ0   |  |

|  |   |
|--|---|
| 工夫している点                                | ・送り迎えの時を利用しコミュニケーションをとった。連絡帳のやり取りをしている。また、希望のある場合、個人面談で話を聴いている。月に1回、主にお母さんたちの参加する学習会を行っている。お母さんたちとは話をするようにしている。何かあった場合には速やかに話を聴いたり連絡をしたりしている。 |
| ③7 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | はい1 (25%)      いいえ3 (75%)   |
| 工夫している点                                | ・市民に向けて毎年「共生の文化講座」を行っているが、今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。<br>・新型コロナウイルス感染防止のために注意をし、見学はいつでも受け入れた。  |
| 改善点                                    | ・来年度は行いたい。  |

#### 非常時等の対応

|   |  |
|---|--|
| ③8 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                 | はい4 (100%)      いいえ0   |
| 工夫している点   | ・緊急時対応マニュアル・緊急対応の表・医療ノート・防災マニュアル・感染症対応マニュアルは、教室を利用する時に持ってくる袋に入れてある。<br>・非常用電源として蓄電用の物を用意した。緊急用の110番通報電話を設置した。<br>・災害があった場合、教室を開放できるよう、福祉避難所として、金沢市と協定を結んだ。 |
| 改善点   | ・通信に書いたりしているが、全員に周知はできていないと思われるので、分かるようにしていきたい。  |
| ③9 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか                              | はい4 (100%)      いいえ0   |
| 改善点   | ・避難訓練は、放課後には行ったが、全員には行えていない。<br>・利用する時間帯や時期（長期休暇）によって状況が違うので、不定期に訓練することで、より臨機応変になると思う。Ⅱ部の子ども達全員に対して避難訓練をするようにする。回数を増やせれば、と思う。                              |
| ④0 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか                              | はい4 (100%)      いいえ0   |
| 工夫している点   | ・虐待防止研修に参加し、伝達研修も行った。  |
| 改善点   | ・全員に研修伝達をしているが、さらに研修が必要。個別の対応や発言について適切かどうかの振り返りをしていねいにしていき、厳しく自分たちの言動を見直すことをしていきたい。  |
| ④1 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、しているか | はい4 (100%)      いいえ0   |
| 工夫している点   | ・やむを得ず身体拘束を行う場合は、放課後等デイサービス計画に記載している。記録に記載してある。  |
| ④2 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                            | はい4 (100%)      いいえ0   |
| 工夫している点   | ・食物アレルギーのある子どもについては、お母さんからの聞き取りをし、対応している。教室から食べ物を提供することはほとんどなく、おやつなどは家から持ってきている。それ以外の物は食べないようにしている。医師の指示書が必要な子に対しては、指示書にもとづく対応をしていく。                       |

④ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

はい3 (75%)      いいえ1 (25%)

工夫している点 ・必要に応じて確認している。

改善点 ・作業共有できていない部分があるので気を付ける。

<放課後等デイサービス（Ⅱ部）職員の自己評価を読んで>

全体として、Ⅰ部の自己評価に比べて、かなり評価が低くなっています。Ⅰ部の「はい」が90.8%であるのに対し、82.6%となっています。とりわけ自己評価が低くなっているのは、「適切な支援の提供」（Ⅰ部の「はい」は90.8%、Ⅱ部は72.7%）、「関係機関や保護者との連携」（90.9%と77.5%）です。「適切な支援の提供」については昨年度の「はい」が89.6%だったことを考えると、今年度のⅡ部の活動について、職員たちは自分たちの活動をかなり厳しく捉えていたと思われます。その一方で、上記のように保護者の評価は昨年と比べ手ずいぶん上がっています。そのあたりの関係がたいへんおもしろいと思います。自分たちの活動を厳しく捉えながら工夫を重ねてきたことが、保護者の高評価につながったと言えそうです。

他の専門機関との連携については、自己評価はたいへん低くなっていますが、これはそれほど切迫して課題がなかったことの結果とも言えます。

虐待防止や災害時の対応等については、日頃からよく話し合われていることや具体的取り組みが進んでいることなどから高評価となっています。

今回のアンケート結果を受け止め、子どもたちからも保護者のみなさんからも信頼していただけるように活動していきたいと思います。